

栄研化学株式会社サステナビリティボンド・年次レポート（2023年度）

当社は2021年10月に新研究棟の建設資金を用途とするサステナビリティボンドを発行し、調達資金の充当状況および環境改善効果を年次で公表することとしております。2023年度（2023年4月～2024年3月）の状況は以下の通りです。

1. 対象事業について

当社は、経営理念「ヘルスケアを通じて人々の健康を守ります。」のもと、大腸がんのスクリーニング検査、世界三大感染症である結核やマラリア、COVID-19の検査薬等、グローバルヘルスの向上と健康寿命の延伸に貢献すべく製品・技術の開発に努めてまいりました。このたび本格稼働した新研究棟は、同事業所内の既存研究棟と合わせ『総合研究センター』として、当社の研究開発における主要拠点となります。また、那須事業所（栃木県）にある研究所を統合することにより、多様な人材の活用と英知の結集・融合を図り、「EIKEN ROAD MAP 2030」で設定した「がんの予防・治療への貢献」、「感染症撲滅・感染制御への貢献」、「ヘルスケアに役立つ製品・サービスの提供」の注力事業の具現化を推進すべく研究開発の強化とイノベーションの加速を図ってまいります。

また、当社では、環境方針に基づき、環境マネジメントシステムを運用し、気候変動など深刻化する地球環境問題に対して、環境負荷の軽減と地球環境保全に積極的、継続的に取り組んでいます。当該方針のもと、環境・社会双方の課題解決に資する事業を更に推進していくための資金調達を目的として栄研化学サステナビリティボンドを発行し、新研究棟の建設資金に充当いたしました。

対象事業	事業概要	稼働開始時期
新研究棟建設 	Covid-19、世界三大感染症である結核やマラリア等の研究によりグローバルにおける社会課題の解決に資する検査薬の研究開発を行うことができ、グローバルヘルスの向上と健康寿命の延伸に貢献する研究所の建設。	2022年10月より本格的な稼働を開始いたしました。

2. 新研究棟の概要

所在地	栃木県下都賀郡野木町野木 143
建築面積	2,638.53 m ² （鉄骨造、5階建て）
建築延べ面積	10,283.78 m ²
建築評価認証	CASBEE 建築（新築） S ランク取得
CASBEE-SWO 認証	CASBEE-スマートウェルネスオフィス S ランク取得

3.資金充当状況と環境改善効果

3.1 資金充当状況（2024年3月末時点）

	調達金額 (億円)	充当金額 (億円)	充当完了時期
新研究棟	30	30	2023年1月

3.2 環境改善効果（2024年3月末時点）

	CO2排出削減量 (ton-CO2e)
新研究棟 スコープ1+2 トータル	928.7tCO2※

※排出量 928.7tCO₂を再生可能エネルギーの使用により 0tCO₂に削減

以上